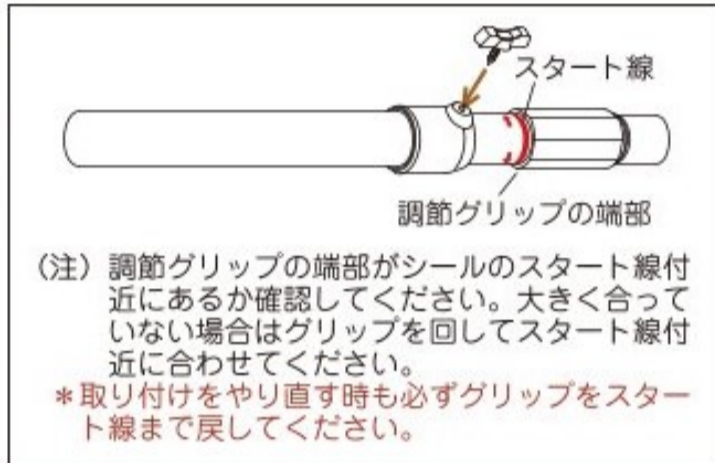
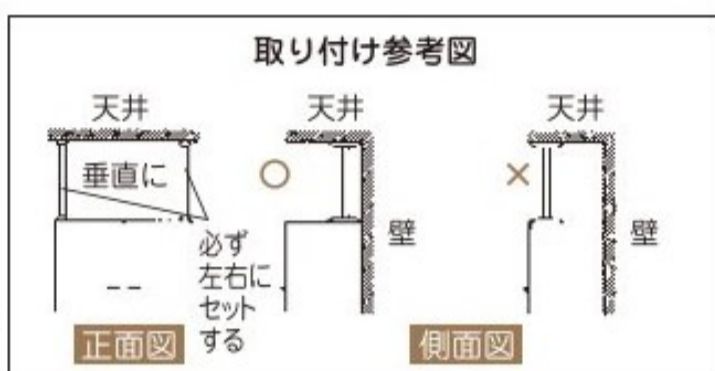
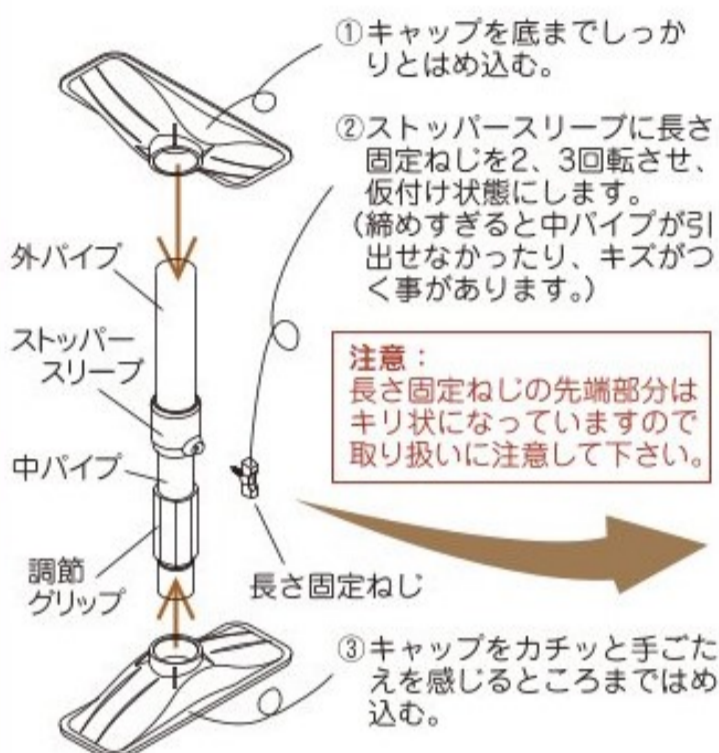


取 扱 説 明 書

△ 取り付け上の注意事項

- 取り扱い説明書にしたがって正しく取り付けを行ってください。
- 天井、家具ともに圧着固定ができる十分な強度のあるところを選んでください。傾斜や凹凸のあるところには取り付けできません。
- やむを得ず強度の不足する場所に取り付ける場合、破損を防ぐため、あて板(市販の木板)などで補強してください。
- 取り付け場所の材質や施工法により効果が薄れる場合があります。
- 2個以上に分かれる家具は、市販の金具などで連結固定してからご使用ください。
- 火や発熱器具のそば、高温になる所、直射日光の当たる所、湿度の高い所、屋外などでは使用しないでください。
- ポールは垂直に取り付け、長さ固定ねじは根元までしっかり締め付けてください。
- 表示の取り付け高さ範囲を必ず守って設置してください。
- 小さな家具の場合でも、左右に1本ずつ取り付けてください。また、壁から大きく離れて取り付けられた状態では十分な効果が得られません(下図参照)。
- 取り付け後、再度点検を行ってください。また、取り付け2~3日後、および定期的(月に1回程度)に点検してください。特に圧着状態をよく確認し、弱ければ圧着強度を増してください。

組み立て方法



取り付け方法

■ 手順 1

① 調節グリップ側を下にし、家具端部(壁側)にキャップをセットします。(上図の取り付け参考図をご覧ください。)

家具両端の奥側に設置する。

こちら側を下にする。

■ 手順 2

② 外パイプを垂直に天井いっぱいまで持ち上げた状態にし、長さ固定ねじをしっかりと締めつけて中パイプを固定します。(締めつけると中パイプに穴があいて長さが固定されます。)

(注) ねじの締めつけが弱いと正しい圧着力が得られない恐れがありますので必ず、しっかりと締めつけてください。

* 再度ご使用になる場合は、ねじのキズあとが目立たないように裏に回して使用してください。

外パイプ (垂直に上げる)

中パイプ

しっかりと締める

ストップ線より伸ばして使用しないでください。

■ 手順 3

③ 調節グリップを矢印の方向(シールのつっぱり方向)に徐々に回して圧着固定させます。

天井などを破損しないように状態を確認しながら圧着力を調整してください。

反対側のポールも同じ手順で取りつけて完了です。

* 調節グリップを回しても適切な圧着力を得られず、ストップ線(グリップ部シール表示)を越えた時は、取り付け方法に誤りがあるか取り付け場所が適していない事が考えられます。取り付け場所を再確認し、最初からやり直してください。

つっぱり

△ 使用上の注意事項

- 本製品は家具を完全に固定するものではなく、あくまで簡易転倒防止器具です。設置状況や地震の強さなどにより、効果が薄れる場合があります。
- 家具の簡易転倒防止以外の目的や用途では使用しないでください。
- 樹脂は使用環境により劣化が生じます。定期的な点検し、ひび割れ、変形など異常を発見された場合、ただちに使用を中止し、新品に交換してください。
- 地震後は新品と交換される事をおすすめします。
- 芳香剤、酸性またはアルカリ性洗剤、油脂、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤の付着は樹脂を急速に劣化させますので、絶対に使用しないでください。また調理場など、空気中に油分が飛散するおそれのある場所などにもご注意ください。
- 汚れは、水で薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤分が残らないよう拭き取った後、乾いた布で拭いてください。たわし、磨き粉で磨くとキズが付きます。
- 表面塗装のキズや汚れの浸透はサビの原因になります。
- 天災などの不可抗力、改造、経年劣化、誤った使用方法による故障・破損事故などに対する補償等はいたしがねます。

* 製品については万全を期しておりますが、万一不良品などがございましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。
* 予告なく仕様および外観を変更する場合がありますので、ご了承ください。